

第22回飛騨高山ドキュメンタリー映像祭

全国からの優秀作品8本を上映

作品のテーマは一般：飛騨高山／学生：夢、つながり

「映像によるふるさと再発見」をテーマに毎年開催している「飛騨高山ドキュメンタリー映像祭」。22回目となる今回は、一般の部と学生の部の2部門に作品を募集しました。

映像祭当日は、全国から寄せられた81本の応募作品から選ばれた8本の優秀作品を上映し、審査員による最終審査と表彰を行います。また、記念アトラクションとしてアコー



アコーディオン奏者cobaさん

主な審査員のみなさん



大石芳野さん



篠田正浩さん



藤井知昭さん

ディオン奏者cobaさんによるコンサートも開催します。

期日 3月4日(金)

時間 午後6時～(午後5時30分開場)

場所 市民文化会館大ホール(昭和町1)

内容 入賞8作品の上映

審査結果発表・表彰式 審査員 篠田正浩(映画監督・早稲田大学特命教授)、藤井知昭(国立民族学博物館名誉教授)、大石芳野(写真家)、河渡

正暁(高山市代表)ほか(敬称略)

記念アトラクション アコーディオン奏者cobaさんによるスペシャルステージ

参加料 無料(入場整理券が必要です)

申込方法 2月1日(火)から観光課、支所基盤産業課、市民文化会館、地場産業センター、NHK高山支局で配布

問合せ先

観光課

☎35-3145

冬期間の火災予防

ストーブによる火災にご注意

まだまだ寒い日が続き、ストーブなどの火気使用器具による火災の発生が懸念されます。

ストーブによる火災は、

使う人の不注意で起こることが多いため、取扱いや使用する場所には十分注意しましょう。

●防火のポイント●

- ① ストーブの近くには、洗濯物などを置かない。
- ② 外出時、就寝時にはストーブを消す。
- ③ 給油時や器具を移動させ

る場合は、火が完全に消えてから行う。

④ 給油は灯油であることを確認し、給油中はその場を離れない。

⑤ カートリッジ式タンクは、キャップを確実に締め、油漏れがないことを確認する。

⑥ 屋根などからの落雪により、煙突が外れたり、破損したりしないような措置をする。

問合せ先

消防本部予防課
☎32-3027



●住宅用火災警報器設置率 市域全体では46.5%に

設置の期限は5月31日

住宅火災での「逃げ遅れ」を軽減するため、住宅用火災警報器の設置が必要ですが、高山地域は36.5%と未だ低い状況です。

各地域で未設置住宅の調査を実施していますが「設置しているが未届出」の世帯が多く見受けられます。火災から大切な命や財産を守るため、住宅用火災警報器の設置・届出をしましょう。

地域別設置普及率(平成23年1月1日現在)

